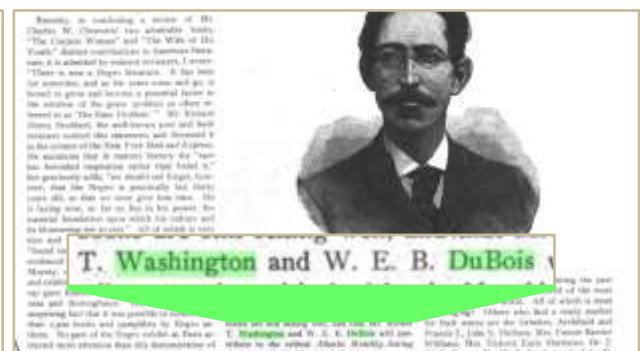
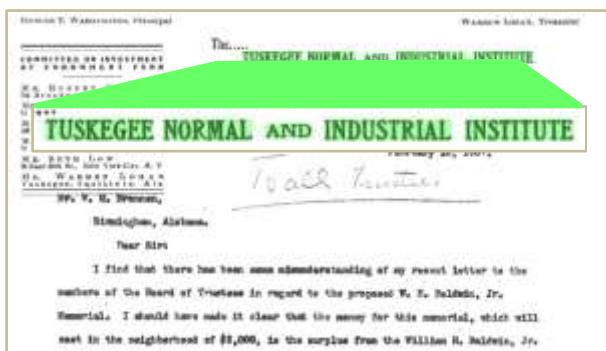


**穏健派の黒人指導者ブッカー・ワシントンが創設した全米最古の実業団体**  
**全国黒人実業連盟と黒人の経済力向上**  
**Black Economic Empowerment**  
**The National Negro Business League**

米国議会図書館が所蔵する全国黒人実業連盟関係の文書を電子化

全国黒人実業連盟は、ブッカー・ワシントン(Booker T. Washington)が1900年にボストンに創設した実業団体で、実業団体としての歴史は全米商工会議所よりも古く、全米最古の実業団体です。創立の翌年にニューヨークで法人化し、10年足らずの間に全米各地に320の支部が設立されました。連盟には企業経営者のほか、医者、弁護士、農場経営者、職人など、様々な専門家が加盟しました。創始者のブッカー・ワシントンは、人種差別問題の解決の鍵は経済にあり、黒人が置かれた様々な問題を解決するには黒人が経済的に自立しなければならない、と考えていました。連盟を創設したのも、「商売とお金の面で黒人が社会的に上昇するのを後押しする」ためであり、生涯に亘り、会長として連盟の活動を続けました。連盟は黒人実業家の経営と広告活動を支援し、巨大な購買力をもつ黒人に商品情報を届けるために黒人系の出版物で広告宣伝を行ないました。このようなワシントンの思想と行動はアンドリュー・カーネギーやジョン・ワナメーカー等、白人の有力者からも称賛を浴び、カーネギーは連盟の設立の際に資金援助を行なっています。ブッカー・ワシントンは経済を重視した穏健派の指導者として、政治運動を重視したW.E.B.デュボイスらとは立場を異にしつつも、黒人運動の歴史に重要な足跡を残しています。本コレクションは、米国議会図書館が所蔵するブッカー・ワシントン関係文書の中から、全国黒人実業連盟関係のファイル抜き出し、電子化したものです。収録資料には、会議録、ブッカー・ワシントンと会員の間の往復書簡等、全国黒人実業連盟の活動の実態を記録する資料が含まれています。





◆データベースの概要

- ◆ 原資料所蔵機関: Library of Congress
- ◆ 期間: 1901年-1928年
- ◆ 総ページ数: 15,779 ページ